

1.日時：平成27年2月16日／午後2時より

2.場所：東京都港区芝公園・増上寺会館「松・杉の間」

3.出席者

(1) 評議員現在数/7名 出席評議員/7名 欠席者/0名

1. 小澤昌弘 2. 小山敬次郎 3. 佐藤良純 4. 高山久照 5. 千坂成也 6. 長塚充男 7. 林恵智子

4.議長 高山久照

5.議題【報告事項】

第1号：平成26年度事業中間報告の件

第2号：平成27年度事業計画の件

第3号：平成27年度歳入歳出収支予算の件

第4号：任期満了に伴う顧問及び参与改選の件

6.会議

(1) 開会宣言：正本事務総長

(2) 定足数報告：正本事務総長より定款第18条に基づき会議の成立を宣言

(3) 定款第19条に基づき高山久照氏が議長に選出される

(4) 定款第20条第2項に基づき議事録署名人に小澤昌弘氏ならびに佐藤良純氏を選任

7.議事経過および決議

◎報告事項第1号：平成26年度事業中間報告の件

事務局：大工原彌太郎総務部次長が配布資料要点の朗読により報告。年々の財源的狭窮に乗ずるように当財団の事業主体であるインドの現場では年々々々高速の経済成長によるルピー通貨の価値下落（インフレーション）により、消費者物価高や人件費高騰が日本寺維持費の上昇を余儀なくさせている旨を報告。また当財団基幹事業13項目の継続実施事業の報告、塩川正十郎氏から河村建夫氏へ名誉会長交代の平成26年10月24日理事会（書面）決議がなされた旨などを報告。

◎報告事項第2号：平成27年度事業計画の件

◎報告事項第3号：平成27年度歳入歳出収支予算の件

事務局：定款にうたっている基幹事業13項目の継続実施、仏教学・東洋学研究所の建設着手、組織基盤の補強事業について。祐天寺様からの寄付金減少にあたり財源を確保するため、役員へ会員数の増大のために護持会員の新規獲得を依頼。続いて、平成27年度歳入歳出収支予算について収支予算内訳表の読解・解説をなす。

林評議員：収入金額よりも支出金額がマイナス 200 万円になっているが、前年度はどうだったのか。

事務局：前年度予算は、マイナスの部分は約 60 万円の赤字となっている。

林評議員：毎年取り崩しということでやっていくのか、今までは門柱などの事業をすることによって経費のマイナスを埋めてきたが、今後はどのように考えているのか。

事務局：財団の経営状況立て直しについて、経済界・広告業界、政界等における広報活動・勧募活動の総括を報告。印度山日本寺に縁の深い SUZUKI 自動車の会長へ直接のプレゼンテーションを諮るべく軽自動車議員連盟の国会議員、牧野先生、京都府連会長西田先生に紹介及び、仲介をいただき担当部署最高責任者に面談をしたが、各企業において株主主体の時代に移り変わっており、宗教団体・特定の宗派に寄附行為をすることが非常に難しいという状況である。仏壇のはせがわ会長に銀座ショールームでの写経会開催について面談した旨を報告。河村建夫名誉会長就任の経緯について説明。その他経済界についてアプローチをしている。40 年間の活動の成果は怯むことなく今こそ世の中に財団の魅力をアピールすべく強く広報活動をすべきだと考えている。

安定した財源を確保すべくより広く広報・勧募活動をおこなうために事務局体制を強化することを考えている。また、一般向けにインターネットを通じた寄付活動、クラウドファンディング、ジャパングビングを通して日本寺への納骨、ツアー等の企画をしている。

林評議員：今までのように宗教界だけを頼りにしていくのではなく今後は企業と同じような形で経営していただくことが大事。これまでの活動を後世に伝えるべく活動をしていただければ今後に期待する。

護持会員の中で 10 万円の維持会員は何人いるのか。また会費は会員から何割程度納入してもらっているのか。

事務局：維持会員は公益法人へ移行後新たに設けた会員なので、現在は数名程度である。また会費納入率は 7 割、8 割程度である。

高山議長：今回の配布された護持会員名簿の意図を聞きたい。

事務局：役員の方々へ会員の勧誘を行っていただく際に、既に入会されている現会員を参照いただくためである。

千坂評議員：会員の方々へ現在ホームページや、フェイスブックでは掲載しているが、ニュースレターの発行も不可欠だと考える。

事務局：企業経験者の榎雄事務総長代理の元、事務局体制の刷新を図りたい。

小山評議員：企業に行けば金が出るという時代からの変化を痛感する。個人へインターネット等を通じて募金活動をしていくことが大切である。また、報告書によると日本寺訪問者 10 万人とあるが、この方々から寄附をいただくべく例えば、安田理事長の書などを印刷したものを記念品とするなどで寄附を集めてはどうか。

現地で感動した人に対してもう少し何かできないかを考えるべきだ。

事務局：年間 10 万人の参拝者がいるが、ほとんどがインド人の巡礼団であり、数ルピーの賽銭である。

現地でのご志納をいただくためにお釈迦様の聖地、ブッダガヤの日本寺に分骨をするという企画も検討している。

議長：評議員の意見を活かしてほしい。

◎報告事項第 4 号：任期満了に伴う顧問及び参与改選の件

事務局：平成 27 年 4 月から 29 年 3 月まで就任期間の顧問・参与の改選につき、顧問の清水谷孝尚・浅草寺貫主の遷化により次期浅草寺貫主が決まり次第顧問に就任を願う、またその他の方々は重任いただく旨を報告。

以上をもって議事を終了した。

以上の議事経過およびその結果を明確にするため、本議事録を作成し、議長並びに議事録署名人はつぎに署名押印する。

議事記録者：廣石香里

平成 27 年 2 月 16 日

公益財団法人 国際仏教興隆協会 評議員会

議長 高山久照 ⑩

署名人 佐藤良純 ⑩

署名人 小澤昌弘 ⑩